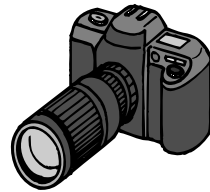




- ①多くの人が集まった、趣向を凝らした各通り会のステージ。
- ②あっきいの登場で、泣き叫ぶちびっ子たち。
- ③会場を盛り上げる吹奏楽部のパレード。
- ④上手に手踊りをする子どもたち。
- ⑤力水を浴びて元気にまわる子どもみこし。
- ⑥祭りをご覧になるさつまの篤姫と島津斉彬、幾島。
- ⑦優雅な踊りを披露する子どもたち。
- ⑧浴衣姿で、演奏する薩摩中央高校吹奏楽部。
- ⑨夜店での金魚すくいに熱中する子どもたち。
- ⑩観衆を魅了する五ツ太鼓と踊り連の共演。

写真説明



活気に満ちた さつまの夏



▲威勢のよい声が響きわたり、力強く通りを練り歩いたみこし

8月3日、歩行者天国となった宮之城屋地町頭から虎居交差点までの国道328号で、さつま町夏まつりが開催されました。通りでは、山車の巡行や宮之城中学校と薩摩中学校吹奏楽部のパレード、元気な子どもみこし、威勢のよい大人みこしなどが練り歩きました。また、「あっきい」も登場し、ちびっ子たちの泣き声も響き渡りました。手踊りでは、約200台の五ツ太鼓のリズムに28団体約1,000人の踊り連が真夏の暑さを吹き飛ばす勢いで踊りを披露しました。手踊りが終わると夜店も立ち並び、各通り会では4ヶ所にそれぞれステージを設けて、趣向を凝らした催しが行われ、多くの来場者でにぎわいました。最後に、川内川から花火が打ち上げられ、にぎわいの中、祭りが締めくくられました。